

編集後記

令和3年度も既に半ばとなりました。ちょうど1年前の編集後記でもコロナウィルスに触れましたが、その闘いは未だに収束できずにいます。東京にオリンピックを誘致した際、現在の状況を予測できた人は皆無だと思えます。

また、人々の生活においては、新しい生活様式や、日々変わる状況下での対応についても様々に考えさせられました。変化に対する柔軟性や、予測・計画と事前準備の重要性、そして“慣れ”の怖さ。これらは災害に対する心構えと共通すると思えます。

今年も様々な自然災害が発生しています。梅雨明け直前のゲリラ豪雨は、人々に多大な苦しみをもたらしました。警戒レベル5相当の豪雨が繰り返し発生し、尊い人命が数多く失われました。元の生活に戻るまでには、まだまだ時間がかかることでしょう。

建設業界は防災、災害対応、災害復旧・復興に対し多くの貢献をすることができる重要な業界の一つだと思えます。今後も様々な技術を開発・駆使し、社会貢献を行うことが必要

なのではないでしょうか。

9月号は「防災、災害対応、災害復旧・復興」がテーマです。ここ数年取り上げられているテーマですが、東日本大震災から10年が経過したことから、今年度についても取組み内容や新技術について広範囲に紹介しています。

行政情報では、「南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策本部」と「水災害に関する防災・減災対策本部」を発展的に統合した、「国土交通省防災・減災対策本部」の「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の現状についてご紹介いただきました。

巻頭言は、東北大学災害科学国際研究所の所長、今村教授にご執筆いただきました。

交流のひろば・ずいそうでは、多くの皆様から幅広く興味深いお話をお伺いすることができました。

これらの情報を共有することで、建設業界が安全・安心な社会基盤を構築することの一助になれば幸いです。

最後になりますが、このようなコロナ渦の中、突然のお願いにも関わらず快くお引き受け頂いた執筆者の皆様には、改めて心より感謝申し上げます。

(副島・内藤)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	中岡 智信
渡邊 和夫	

編集委員長

中野 正則	日本ファブテック(株)
-------	-------------

編集委員

菊田 一行	国土交通省
大森 茂樹	農林水産省
細田 豊	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
穴井 秀和	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
宇野 昌利	清水建設(株)
佐藤 誠治	(株)大林組
内藤 陽	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
竹田 茂嗣	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
新井 雅利	(株)加藤製作所
五味 敏彦	古河ロックドリル(株)
太田 正志	施工技術総合研究所

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

10月号「自然再生、自然景観、都市景観、復興まちづくり景観」予告

・ほこみちプロジェクト本格始動 ・グリーンインフラの推進に向けて ・自然と共生する新しい工業団地開発のかたち ・瀬戸内 Kirei 太陽光発電所建設における「錦海ハビタット」としての湿地再生 ・港湾工事で発生する材料を活用した生物共生干潟の創出 ・緑化工による自然環境の復元と保全 ・瀬の再生と土木遺産の再現 八の字塚(熊本県八代市) ・既設河川横断工作物を改良した切欠き魚道設置の検討と実践 ・生物共生型護岸『潮彩の渚』 ・岩盤法面整形装置及び景観工法 ・コケボード緑化工法の施工方法及断熱保温効果 ・将来に残る持続可能な復興まちづくりのかたち

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえ FAX をお送りください。

詳しくは HP をご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 9,408円(税・送料込)

建設機械施工

第73巻第9号(2021年9月号)(通巻859号)

Vol.73 No.9 September 2021

2021(令和3)年9月20日印刷

2021(令和3)年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話(0545)35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話(011)231-4428
東北支	部〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18	電話(022)222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話(025)280-0128
中部支	部〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10	電話(052)962-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話(06)6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話(082)221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話(087)821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30	電話(092)436-3322

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中